

【史料を使った問題】(難易度：やや難)

史料A～Eを読んで、後の問いに答えなさい。史料は問題作成にあたり、部分抜粋・改変している。

A

①朱元璋はどちら側に立っていたのか、が問題になる。朱元璋は当初は②紅巾軍に加わっていたことは確かであるが、権力を握った明王朝は③地主階級に立脚し、④農民を厳しく支配する政権となった。この農民軍から地主政権への転化がいつ、どのように起こったかが中国の学会では「朱元璋の転化問題」という論争になっている。

<谷川道雄・森正夫編『中国民衆反乱史』2 宋～明中期 東洋文庫 >

問1 下線部①の朱元璋が建国した明の都を漢字2字で答えなさい。

問2 下線部②の紅巾軍の名称は白蓮教の信者らが紅い布を頭に巻いていたことに由来するが、白蓮教の説明として正しいのはどれか。

ア お札や呪文をとこなえると病気が治癒すると信じられ、多くの信徒を得た。

イ 不老長生をめざすことが人生の目標であり、幸福であるととらえた。

ウ 無為自然を基本とし、自然の変化に対応した生き方をすべきとした。

エ 弥勒仏が大衆を救済するために現世に現れるという弥勒信仰が広がった。

問3 下線部③の地主に小作料を支払う中国の小作農の呼称を漢字2字で答えなさい。

問4 下線部④に関連して、1381年から全国で実施された村落行政制度を選びなさい。

ア 屯田制

イ 均田制

ウ 里甲制

エ 三長制

B

皇帝が自ら兵をひきいて砂漠の彼方に出撃するという事は、ながい中国史のなかでも、空前絶後の壮挙であった。

中国人の皇帝として、砂漠をわたったのは、⑤永楽帝ただ一人であった。しかも、中国人の皇帝として唯一の例であるばかりでなく、異民族出身の皇帝でも、中国の支配者となった後にこうした親征の軍をおこしたのは、魏の太武帝と⑥清の聖祖⑦康熙帝とがあるにすぎない。

<寺田隆信『永楽帝』中公文庫>

問5 下線部⑤の永楽帝が行った政治として**誤っているもの**を選びなさい。

- ア 一般の民戸と別に軍戸の戸籍を設けて衛所制を編成した。
- イ 靖難の役に勝利し、皇帝に即位した後、皇帝独裁の強化をはかった。
- ウ 北平と呼ばれていた都市に紫禁城を築いて国都とし、北京と改称した。
- エ 鄭和に命じて南海遠征を行わせ、南海貿易の活発化をもたらした。

問6 下線部⑥の清はホンタイジが後金から国号を改称した名称だが、後金の由来である金を建国した中国東北のツングース系民族を選びなさい。

- ア 匈奴 イ 突厥 ウ 鮮卑 エ 女真（女直）

問7 下線部⑦の康熙帝が行った政治として正しいものを選びなさい。

- ア 都を北京に移し、李自成の乱を平定した。
- イ ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
- ウ 内モンゴルのチャハルを制圧した。
- エ 八旗の編成を行い、満州文字を制定した。

C

当時、⑧マテオ＝リッチ自身も、皇帝がもしこのような地図を見たら中国をこれほど小さく描いたことで自分たちが中国人を見下しているとして罪に問うのではないかと恐れ、さらに多くの守旧的な大臣たちも、この地図を見て故意に外夷を誇張して描いていると言ってこの世界観を攻撃した。

だが、……⑨徐光啓ら知識人はこの種の世界観を受け入れたばかりでなく、⑩万暦帝までこれを非常に喜び、死後には定陵の皇帝の墓に副葬した。「天下」が変化した意味を理解することなく、喜んで宦官にこの地図をもとにした大幅の『坤輿万国全図』屏風を描かせた。

<葛兆光／辻康吾監修・永田小絵訳『中国再考—その領域・民族・文化』2014 岩波現代文庫>

問8 下線部⑧のマテオ＝リッチが所属したカトリック修道会の名称を答えなさい。

問9 下線部⑨の徐光啓がマテオ＝リッチと共訳した漢訳本を選びなさい。

- ア 『本草綱目』 イ 『農政全書』 ウ 『天工開物』 エ 『幾何原本』

問10 下線部⑩の万暦帝時代の初期、中央集権的な財政の立て直しをはかった政治家を選びなさい。

- ア 張居正 イ 王陽明（王守仁） ウ 宋応星 エ 李時珍

D

明末の17世紀には、⑪宦官の台頭を非難する官僚のグループ東林派（党）が形成され、非東林派との争いは頂点に達した。

1627年、⑫毅宗崇禎帝（明の最後の皇帝）が即位すると、新帝は宦官魏忠賢の専横に反感を持っていたので、彼を弾劾する声が強まり、魏忠賢も逃れられないと知って首をくくって死んだ。毅宗はその死体をはりつけにし、天下に罪を明らかにして民衆の怒りを収めなければならなかった。

<愛宕松男・寺田隆信『モンゴルと大明帝国』講談社学術文庫>

問 11 下線部⑪の宦官の説明として正しいものを選びなさい。

- ア 九品中正を行うために州・郡に置かれた役職をいう。
- イ 辺境の募兵集団の指揮官として置かれた役職をいう。
- ウ 宮廷につかえる去勢された男性をいう。
- エ 軍政と遊牧民の民政を担った官庁及び官吏をいう。

問 12 下線部⑫の毅宗崇禎帝は、農民反乱軍に都を包囲され、1644年自殺したが、この農民反乱軍の指導者を漢字3字で答えなさい。

E

今、偏りの亡い世界史認識のなかで⑬ティムールの活動とその結果を位置づけるならば、以下のようにみるのが妥当であろう。元朝とイル＝ハン国の衰退やチャガタイ＝ハン国の分裂など、14世紀半ばに始まるモンゴル帝国瓦解ののちに、広く中央アジア・西アジアに新たな政治的秩序をもたらし、史上に名高いティムール朝文化（およびティムール朝ルネサンス）や、ティムール朝滅亡後も広く受け継がれる制度・習慣の礎を築いた。ティムールの子孫によるインドの⑭ムガル帝国はもとより、イランの⑮サファヴィー朝や中央アジアのウズベク諸国家においても、ティムールとその子孫が遺したものが確実に継承されている。

<久保一之『ティムール 草原とオアシスの覇者』世界史ブックレット 山川出版社>

問 13 下線部⑬のティムールが都として壮大なモスクや学院を建設した都市を選びなさい。

- ア ダマスクス
- イ バグダード
- ウ カイロ
- エ サマルカンド

問 14 下線部⑭のムガル帝国第3代皇帝アクバルが行った政治として**誤っているもの**を選びなさい。

ア 都をデリーからアグラに移した。 イ アグラにタージ=マハルを建設した。

ウ 新たにマンサブダール制を整えた。 エ 人頭税（ジズヤ）を廃止した。

問 15 下線部⑮のサファヴィー朝の説明として正しいものを選びなさい。

ア アンカラ（アンゴラ）の戦いでオスマン軍を破った。

イ ウルグ=ベクの建設した天文台を中心に天文学や暦法が大いに発達した。

ウ シーア派を国教とし、スンナ派のオスマン帝国と対峙した。

エ プレヴェザの海戦で地中海の制海権を手に入れた。

解答欄

問 1		問 2	問 3		問 4	問 5	問 6	問 7
南	京	エ	佃	戸	ウ	ア	エ	イ
問 8					問 9	問 10	問 11	
イ	エ	ズ	ス	会	エ	ア	ウ	
問 12			問 13	問 14	問 15			
李	自	成	エ	イ	ウ			

配点

問 1 ・ 3 ・ 6 ・ 8 ・ 12 は各 2 点 計 10 点

問 2 ・ 4 ・ 5 ・ 7 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 13 ・ 14 ・ 15 は各 1 点 計 10 点

合計 20 点

解答欄

問 1		問 2	問 3		問 4	問 5	問 6		問 7
問 8					問 9	問 10	問 11		
				会					
問 12			問 13	問 14	問 15				